

「マッスルゲート」ヘッドジャッジ鈴木雅インタビュー

ゴールドジムマッスルゲート

10月4日(日) 札幌大会 札幌共済ホール
10月18日(日) 福岡大会 博多パピヨン 24
10月31日(土) 神戸大会 神戸芸術劇場
11月15日(日) 石川大会 ゴールドジムヴィテンののいち
11月21日(土) 東京大会 江戸川区総合センター

ゴールドジムジャパンカップ

11月29日(日)
品川区立総合区民会館(きゅりあん)

大会詳細やエントリー方法は、マッスルゲート公式ホームページにて



鈴木 雅



2010年～2018年日本ボディビル選手権 9連覇
2016年IFBB世界ボディビル選手権大会80kg級優勝
ゴールドジム事業部トレーニング研究所所長
ゴールドジムアドバンストレーナー

競技レベルや団体問わず、誰でも参加できるコンテスト「マッスルゲート」。各大会の選手エントリー受付が開始された今、マッスルゲート全大会でヘッドジャッジを務める、鈴木雅選手の持つ強い想いとは。

(インタビュー：マッスルゲート実行委員会)

ドーピングは絶対に認めませんー鈴木雅

「マッスルゲート」の各大会のエントリー受付が開始されましたね。

鈴木：私の周りにも出場を表明しておられる方が増えてこられました。現在(注：このインタビュー時点)はマッスルゲートを締めくくる最後の大会「ゴールドジムジャパンカップ」の開催要項詳細を詰めているところで。また各大会の観戦チケットの発売準備も進めております。

各大会とも、JBFF(日本ボディビル・フィットネス連盟)の登録選手の他、まだ試合に出たことのない方や、JBFFから見ての他団体の選手も多く出場が見込まれると思います。

鈴木：ありがたいことに多くの方から出場についての問い合わせを頂いております。「マッスルゲート」はトレーニング、ボディコンテスト初心者の方達も参加しやすい門戸を広く開けた大会です。レベルや団体問わず、多くの方達に参加をして頂きたいと思っております。

多くの選手に開かれた大会であることで、ドーピングをしている選手の出場を危ぶむ声も聞かれます。

鈴木：「ドーピング」は絶対に認めません。「マッスルゲート」「ゴールドジムジャパンカップ」はJBFFのルールに準じた試合であると同時に、「JBFFの持つ」「アンチドーピング」精神も受け継ぐ大会にしていきたいです。

JBFFはアンチドーピングに長年注力している団体で、国内外でその姿勢は評価されていますね。

鈴木：その通りです。世界で最もドーピングに厳しい団体と言っても過言ではないと思います。よってドーピングを公言している選手や、明らかにドーピングをしていると思われる選手の出場は認めません。仮にそういった選手が出場し、ステージに立ったとしても審査員長とし

て一切評価しません。これは他の審判員含めた、実行委員全ての総意です。

主催者側の明確な見解を聞いて安心しました。しかし仮にドーピングをしている選手が出場してきた場合、ステージ上の身体を見て明確にそれとわかるものなのでしょうか。

鈴木：ほとんどの場合はつきりとわかります。ドーピングをしている選手の身体は、いびつな特徴が表に現れるため、すぐにわかります。肌が異様にながさついているため、上半身全体から顔にかけて鬱血したような、血圧が異常に高そうな顔などがその特徴です。その他、解剖学的な見地からすると、いびつな筋肥大や、異常な静脈発達によるバスキュラリティが見られたり等、様々な特徴があります。最近の海外のコンテスト出場者に見られるような、シリコン等の異物を注入し、筋肥大を模した身体も当然審査対象にしません。即予選落ちです。

審査以外に、ドーピング違反を防ぐ対応はありますか。

鈴木：医師の協力の元、抜き打ちでの「尿検査」も検討しています。我々審査員が見て怪しいと思う選手には審査結果に関わらず、試合中もしくは試合後に尿検査を実施するという形を検討しています。当然拒否する選手はその場で失格です。

そこまで徹底されていると、まじめにトレーニングをして、クリーンな身体で出場する選手にとっては心強いですね。

鈴木：ボディコンテストは節目として、日々のトレーニングの成果を発表するための大切な機会です。社会的に認められない健康を害することが明確なドーピング行為は認めません。絶対に。